

2026年度 第2回サンマ中短期漁況予報（抜粋）

令和 8 年 9 月 25 日

福島県水産海洋研究センター

一般社団法人 漁業情報サービスセンターより、9月18日に「2026年度第2回サンマ中短期漁況予報」が発表されましたので、概要をお知らせします。

1. 今後の見通し

予測期間：2026年9月下旬～11月上旬

対象海域：道東海域、三陸海域 ※常磐海域の予報は第3回（9月29日発表予定）から

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

（1）来遊量

道東海域

9月下旬～10月上旬は、小型魚主体の断続的な来遊がある。10月中旬から1歳魚の来遊量が増加するため、10月中旬～下旬は低位水準で増加する。11月上旬は低位水準で減少する。

三陸海域

10月下旬から低位水準ではあるが、来遊がある。11月上旬は低位水準で増加する。

（2）漁場

道東海域 落石～襟裳岬沖。

主漁場は道東より東側の公海。

三陸海域 10月中旬まで漁場の形成はない。

10月下旬～11月上旬は三陸北部。

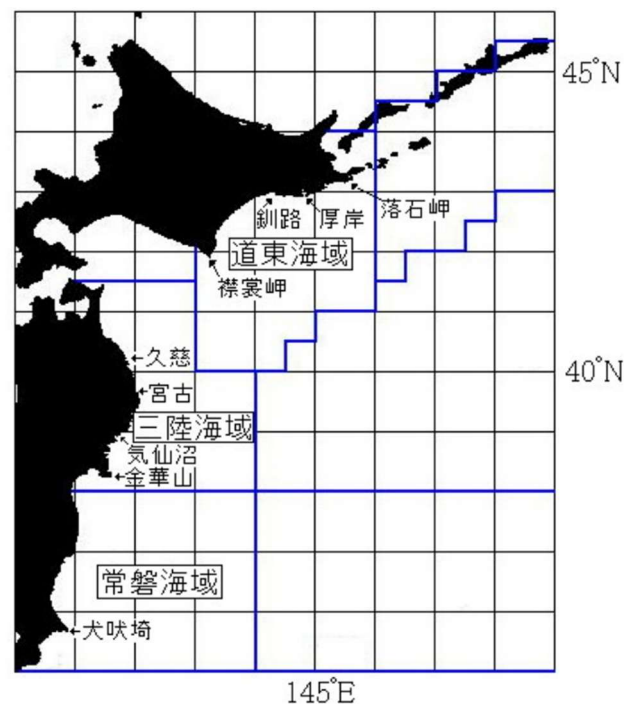


図1 海域の名称

2. 漁況経過概要（9月上旬）

（1）来遊量

道東海域では前年度を下回り、低位水準。

（2）漁場

道東海域では落石沖～襟裳岬沖に断続的に形成。

主漁場は道東海域より東北東～東南東側の公海。落石東北東 530～570 海里での大型船の漁獲量は平均 6.0 トン、最高 36 トン。落石東南東 290～360 海里での大型船の漁獲量は平均 4.9 トン、最高 15 トン。

（3）魚体

道東海域では小型魚が主体。

道東海域より東北東～東南東側の公海では体長 27～32cm、体重 90～140g 台が主体。

魚体は前年より小さい。

※詳細については下記の HP をご参照下さい。

一般社団法人 漁業情報サービスセンター プレスリリース

<https://www.jafic.or.jp/information/2026/09/18/post-5/>